

自動送出システム

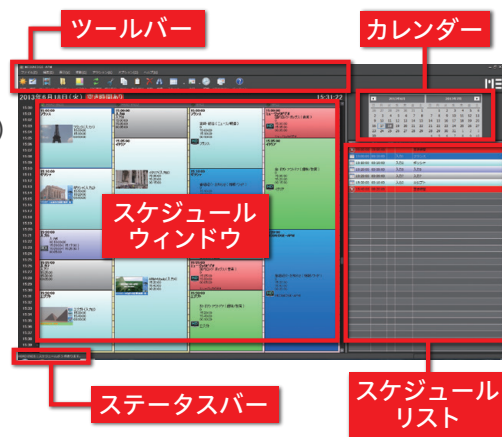
MEDIAEDGE APM

12年以上の導入実績があるMEDIAEDGEシステムをベースに、「APCシステム」と「送出サーバー」を1つのシステムに統合することで誕生した、コストパフォーマンスに優れた画期的なシステムです。本格化する4K番組の本放送用送出システムとしても採用されています。



MEDIAEDGE APMの特長

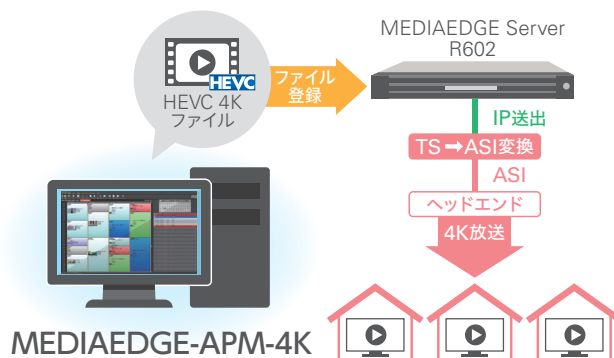
- ▶ 全国98ヶ所以上に導入実績を持つ高い信頼性
- ▶ スケジューラー・スイッチャー制御・外部機器制御と送出を1台のサーバーシステムで実現
- ▶ チャンネル数を最大16chまで拡張可能(蓄積型は99chまで対応)多チャンネル構成時に抜群のコストパフォーマンスを実現
- ▶ 直感的な操作に対応したユーザーフレンドリーな操作画面
- ▶ 空き時間をカレンダーで視覚的に表示
- ▶ 緊急時に任意の静止画・動画・テロップを割り込んで送出可能
- ▶ 緊急時に管理ソフトウェア上からスイッチャーの切り替えが可能
- ▶ 国内ヘッドエンドメーカー各社のEPGデータに対応(オプション)
- ▶ 録画収録をすることが可能(オプション)



NEW MEDIAEDGE APMは 4K送出にも対応！

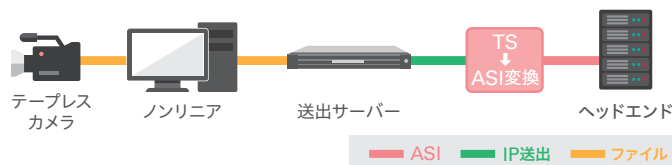
ケーブル4K向け送出システムとして採用

- ▶ MEDIAEDGE-APMと全く同じ直感的な操作性
- ▶ XDCAM(HD/35Mbps)よりも30%システム負荷を低くできるHEVC(4K/H.265 25Mbps)を採用
- ▶ IP放送システムとしてパケットのままで送出することも可能



シンプルなシステム構成の確立

IP放送システムの場合、映像信号が全く介在しないシステム構成が可能となります。そのため、多くのハードウェアを必要無くなり、シンプルな構成のシステムが確立するため、大幅なコストダウンが可能となりました。



NEW 新機能について



お悔やみ表示オプション

指定葬儀業者からメールで送られてくる静止画像を指定期間自動的に表示するオプションです。お悔やみ情報表示を自動化することができます。



コンテンツループ再生オプション

各部門からコンテンツ登録PCで登録されたお知らせなどの情報を順番に表示するオプションです。動画と静止画に対応しています。管理権限のある部門であれば、順番や表示するかどうかを管理することができます。



蓄積機能 MEDIAEDGE-APM Express

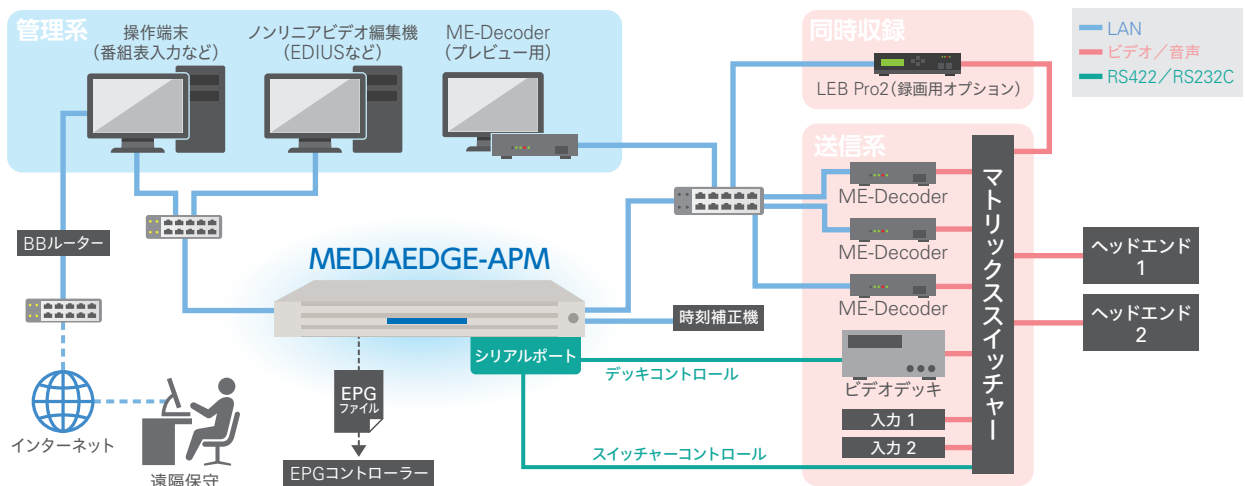
サーバーから、MEDIAEDGE Decoderへコンテンツとスケジュールを配信し、スケジュールに従って再生する機能です。コンテンツはMEDIAEDGE Decoderの記録媒体に保存されますので、ネットワークの常時接続を必要としません。



冗長化機能

コンテンツおよびスケジュール情報を、メインサーバーとサブサーバーに同時に登録するオプションです。メインサーバーが万が一使用できなくなった場合でも、サブサーバーに切り替えて再生を継続します。メインサーバーが復旧した場合、サブサーバーからコンテンツおよびスケジュール情報をコピーして復旧する機能もあります。

システム構成図例 (1チャンネル+収録OP)



※SG(同期)信号や一部機器は省略しております。

システム仕様

映像フォーマット	最大1920×1080 59.94i MPEG2(最大25Mbps/テロップ使用時18Mbps) 最大1920×1080 59.94i H.264(最大20Mbps/テロップ使用時9Mbps)
音声フォーマット	MPEG1 Audio Layer2 128kbps~384kbps Dolby Digital 128kbps~384kbps
多重化方式	MPEG-2-TS形式
対応マトリクススイッチャ	IMAGENICS / GrassValley 推奨 ※
デッキ	RS-422による制御を最大4台まで可能

※ 推奨メーカー以外の機器は外部機器制御オプションにて対応いたします。

